

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2025-008
2.研究課題名	自閉スペクトラム症の社会的意思決定における親和性と実行機能の関連に関する脳画像研究
3.研究期間	令和 8 年 4 月（倫理委員会承認後）～ 令和 11 年 3 月 31 日
4.研究の概要	意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての確に記すこと。） 本研究で対象とする自閉スペクトラム症(以下、ASD)は、社会性の障害(人との円滑なコミュニケーションや意思伝達に困難さ)と興味・関心の限局(偏った強い興味や儀式的な行動)を示す発達障害です。本研究では、ASD における社会的な意思決定の困難さの背景として、実行機能の困難さを想定し、分配対象との関係性にも着目しながら、これらの関連について検討を行うことを目的とした fMRI 実験を実施します。 本研究への参加は任意であり、同意後のいかなる段階においても中断を申し出ることができます。実験終了後に同意を撤回する場合には、それ以前に公開された研究結果について、公表を取り消すことはできませんが、それ以降はデータを破棄し、使用することはありません。研究目的や方法について、添付の説明書を用いて対象者に口頭にて説明し、同意書に署名をいただきます。対象者のデータは統計的に処理し、個人が特定されない形で公表することを予定しています。
	方法（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと） 以下の基準を満たす成人の日本語母語話者の ASD 者、定型発達者 50 名ずつを対象とします。 ASD 者 採用基準：ASD(自閉症、アスペルガー障害)の医学的診断を有する者 除外基準：知的障害の診断のある者 精神障害の既往歴のある者 ASD 以外の発達障害の診断のある者 手指や上肢運動の障害、および色覚異常のある者 定型発達者 除外基準：知的障害、発達障害、精神障害の診断・既往歴のある者 手指や上肢運動の障害、および色覚異常のある者 MRI 撮像に関する除外基準 ・脳神経疾患・心臓病の既往歴がある者 ・体内に金属がある者 ・閉所恐怖症の者 ・極度の近視の者 ・妊娠中・妊娠の可能性のある者

	問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） susumu.yokota.e1@tohoku.ac.jp
--	---

（紙面が不足するときには、罫線の縦幅を任意に増やし、次頁送りにしてください。）